

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 荒木 剛	職名 准教授	学位 修士 (社会福祉学)
---------	--------	---------------

研究分野	研究内容のキーワード
高齢者福祉、ソーシャルワーク、実習教育	高齢者福祉、ソーシャルワーク、社会福祉士養成教育

研究課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉領域におけるソーシャルワーク実践のあり方。 ・ 社会福祉士養成教育における実習のあり方。

担当授業科目
<p>基礎実習 (1 年次通年)、福祉入門 (1 年次通年)、介護技術演習 (1 年次後期)、高齢者福祉論 (2 年次通年)、相談援助実習指導 I (2 年次通年)、相談援助演習 II (2 年次前期)、相談援助演習 III (2 年次後期)、高齢者支援学 I (2 年前期)、相談援助実習指導 II (3 年次通年)、相談援助実習 (3 年次通年)、相談援助演習 IV (3 年次前期)、相談援助演習 V (3 年次後期)、専門研究 I (3 年次通年)、高齢者支援学 II (4 年前期)、社会福祉特講 II (4 年次後期)、専門研究 II (4 年次通年)</p>

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【基礎実習】</p> <p>本科目は、1 年次開講の福祉基礎科目 (選択) であり、対人援助の実践現場で体験型実習を行うものである。講義は、学生を 3 グループに分け、各教員による担当制とした。実習前には、対人援助職への理解や実習への動機が高まるよう個別指導を実施した。また、自己学習により実習先を理解させ、実習への準備性を高めた。実習後には、個別面接や実習報告会を通して、実習体験から得た学びや気づきの振り返りを行った。</p>
<p>授業科目名【福祉入門】</p> <p>本科目は、1 年次開講の福祉基礎科目 (必修) であり、学生の社会福祉への動機・関心を高めることを目的としている。講義では、初学者である 1 年生が福祉課題の現状や対人援助職の魅力・やりがいを理解できるよう、統計資料や DVD 等を活用した。また、授業全体のマネジメントを担い、教授内容の検討や外部講師との日程調整等を行った。</p>
<p>授業科目名【介護技術演習】</p> <p>本科目は、外部講師 2 名による介護技術の実技指導を主な内容としている。講義では、外部講師との連携を図り、使用物品の準備や講義環境の整備等を行った。また、單元ごとにレポートを提出させ、技術面だけでなく、介護者としての視点や考え方の習得度を把握した。</p>
<p>授業科目名【高齢者福祉論】</p> <p>本科目は、社会福祉士指定科目の 1 つである。講義では、毎回、教科書を中心としたレジュメを作成し、学生の内容理解を助けた。また、適宜、新聞記事や DVD 等を活用し、最新情報の提供を行った。講義後には、コメントカードを提出させ、学生の理解度の把握に努めた。</p>

<p>授業科目名【相談援助実習指導Ⅰ】</p> <p>本科目は、相談援助実習（3年次）の実施に向けた準備学習を主な内容としている（高齢者福祉領域を担当）。講義では、グループ学習やDVD等の視覚教材、高齢者体験セット等を活用し、実習領域・施設や利用者理解が深まるよう工夫した。また、見学実習により実習内容のイメージ化と動機づけを行った。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習指導Ⅱ】</p> <p>本科目は、相談援助実習（3年次）の事前・事後の学習指導を主な内容としている（高齢者領域福祉を担当）。実習前には、実習計画書、個人紹介票、誓約書等の作成指導を通して、学生の動機づけを行った。実習後には、個別面談やケアプラン報告会、実習報告会を通して、実習体験の学び・気づきを深めさせた。また、実習期間中は、巡回訪問や帰校日において、個別指導及び実習状況の確認を行った。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習】</p> <p>本科目は、社会福祉士受験資格取得のための学外実習（180時間）を行うものである（高齢者福祉領域を担当）。実習を実施するにあたり、実習指導者との連絡・調整を密に行い、実習環境の整備と教育効果の向上に努めた。また、新規実習施設の開拓や実習指導者協議会（9月）による実習指導者との連携にも努めた。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習Ⅱ】</p> <p>本科目は、社会福祉士指定科目の1つである。講義では、ソーシャルワーカーとしての基本的視点、姿勢、支援過程、面接技法、記録等について教授した。また、毎回、各人に意見発表の機会を与え、主体的な態度を引き出せるよう心がけた。さらに、グループワーク、ディスカッション、ロールプレイ等を積極的に取り入れ、体験・参加型の講義となるよう努めた。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ】</p> <p>本科目は、社会福祉士指定科目の1つである。講義では、要支援高齢者の事例を用いてケアマネジメントの手法や権利擁護のアプローチを教授した。また、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等を取り入れ、学生同士、様々な視点から事例検討が進められるよう工夫した。 ※相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴはオムニバス形式のため、講義内容・方法は同じ。</p>
<p>授業科目名【高齢者支援学Ⅰ】</p> <p>本科目は、本学（福祉、看護、栄養学科）、九州歯科大学、西日本工業大学の3大学による合同講義である。内容は、アクティブ高齢者への支援について、講義とPBL（事例検討）を通して検討するものである。講義では、他大学・学科の学生が理解を深められるよう、内容や資料を工夫した。また、PBLにおいては、3大学の学生が多職種連携の視点から議論できるようファシリテートの方法を工夫した。</p>
<p>授業科目名【高齢者支援学Ⅱ】</p> <p>本科目は、本学（福祉、看護、栄養学科）、九州歯科大学、西日本工業大学の3大学による合同講義である。内容は、実習（ケアハウス）およびPBLを通して、虚弱高齢者の支援を検討するものである。講義では、PBLのファシリテーターを担い、各専門性に基づく議論が深まるよう工夫した。</p>
<p>授業科目名【社会福祉特講Ⅱ】</p> <p>本科目は、4年次の開講科目であり、社会福祉士国家試験対策としての位置づけもある。講義では、高齢者福祉を担当し、国家試験で出題が予想される制度改正や学生の理解度が十分でないと思われる内容を中心に教授した。</p>
<p>授業科目名【専門研究Ⅰ】</p> <p>本科目では、ゼミ全体で研究テーマを設定した後、各人が個別の課題について自己学習を行った。学生指導においては、できる限り各人が研究への関心を高め、意欲的に学習に取り組めるよう努めた。</p>
<p>授業科目名【専門研究Ⅱ】</p> <p>本科目では、各人が研究テーマ・課題を設定し、調べ学習及びレポート作成に取り組んだ。学生指導においては、各人とのコミュニケーションを密に図り、進捗状況に応じた個別指導を心がけた。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本社会福祉士会 日本社会福祉学会 日本地域福祉学会 日本介護福祉学会 日本ケアマネジメント学会		1998年4月～現在に至る 2002年3月～現在に至る 2007年3月～現在に至る 2007年3月～現在に至る 2008年1月～現在に至る

2019年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(学術論文) 地域包括支援センターにおける社会福祉士の実践上の課題－個人属性・組織の運営及び実践状況からの検討－	単	2019年4月	『ソーシャルワーク研究』45(1)	① 地域包括支援センターにおける社会福祉士の実践実態を把握するとともに、個人属性と組織の運営上との関連を検討したもの。 ② P51 - P58
(学術論文) 地域包括支援センターにおける地域ケア会議の実施状況－社会福祉士の実践面への効果について－	単	2020年3月	『九州社会福祉学』第16号	① 地域包括支援センターが主催する地域ケア会議の実施状況と会議実施による社会福祉士の実践面への効果について検討したもの。 ② P1 - P14

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(2) 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等

団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
北九州市社会福祉協議会 (権利擁護・市民後見センター運用委員会)	委員	2009年4月～現在に至る
北九州市社会福祉協議会 (福祉人材バンク事業運営委員会)	委員	2012年4月～2020年3月
北九州市社会福祉協議会 (総合企画委員会)	委員	2018年4月～現在に至る
社会福祉法人兼恵園 (評議員会)	評議員	2017年4月～現在に至る

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)

教務委員 (2019年4月～現在に至る) 地域連携室室員 (2016年8月～現在に至る) COC+3 大学連携講義検討部門・公開講座部門 (2015年11月～2019年3月)
